

# 留学のとびら 2024 年度 活動報告書

文責：平松 莉奈、石川 幹、森 瑞稀、縄島 航

## 留学のとびらについて

留学のとびらは、名古屋大学学生(以下名大生)の留学支援を目的とし、実際に名古屋大学の留学プログラムに参加した留学経験者及び留学希望者によって運営されている名古屋大学海外留学室公認の学生団体である。名古屋大学の各種留学プログラムの中でも特に、一学期間以上の長期留学である交換留学のための支援を主な活動内容としている。多様な留学経験を持つメンバー同士、目的達成に向け活発に話し合い、企画を立て、時には海外留学室と協力しながら実行に移すといった自律的かつ活発な姿勢が団体の特徴である。

## 留学のとびらの理念

### 1. 世界を知り世界に通用する名大生の輩出

名古屋大学ではこれまで以上に多数の学生を留学に輩出することを目標としている。本団体では留学を希望する名大生に情報収集の場を提供し、また留学を検討していなかった学生にも留学の魅力を伝え、多くの名大生の留学のきっかけになるような場を創造することで、将来的に世界に向けて活躍する名大生の育成の機会へ繋げる。

### 2. 交換留学コミュニティの形成

他大学と比較すると、本学の交換留学経験者の繋がり薄い。それを改善するため、留学が決まった学生から帰国した学生までを対象に懇親会や交流会、また SNS を活用したネットワークを運営している。

### 3. メンバーの個性とリーダーシップの発揮

メンバーの一人一人が個性とリーダーシップを発揮し、互いの成長を刺激し高め合う。多様な価値観を相互に尊重し合い、メンバーの大学生活の充実を支える笑顔あふれる団体であり続ける。

## 設立の経緯

「留学のとびら」は 2009 年度に留学から帰国した学生らが設立した。留学を終えたメンバーが中心となって構成されていたため、在籍できる期間も短く流動的であったことから運営が停止し、海外留学室が主体となり再設立されることもあった。加えて、2020 年度より新型コロナウイルス感染拡大により海外渡航が制限されたことから「留学帰国生」から「留学帰国生及び興味がある人」と幅広くメンバーを勧誘する方針へと変えた。

## メンバーについて

留学帰国生、交換留学に内定した学生、留学に興味がある学生にて構成されている。

法学部 4 年	平松 莉奈
工学部 4 年	石川 幹
経済学部 4 年	那須 万莉香
文学部 3 年	森 瑞稀
理学部 2 年	関口 心愛
工学部 2 年	縄島 航

## 2024 年度活動状況

2024 年 4 月-	LINE 公式アカウントでの質問・相談対応（年間通して実施） 合同説明会 交換留学行ってらっしゃい&お帰りの会
5 月-	短期留学座談会
6 月-	English Café
7 月-	English Café
8 月-	留学計画ワークショップ
10 月-	交換留学座談会 短期留学座談会
11 月-	English Café
12 月-	English Café

## 活動内容詳細

### LINE 公式アカウントでの質問・相談対応

文責：平松 莉奈

LINE 公式アカウントを用いて、留学準備や興味のある学生がいつでも気軽に質問できるプラットフォームを作っている。応募書類の添削や、面接対策、または奨学金獲得のためのアドバイスなど交換留学や短期研修に関わるあらゆる質問を常時受け付けている。2024 年度は約 15 件の質問や相談に対応した。実際に留学や奨学金に合格したという報告を聞いたり、留とびの対応がきっかけに留とびの活動に関わってくれたりする人もいた。ただ、現在の留とびに留学経験者が多くいないことから、対応が遅くなったり、相談者にとって最適な留学経験者を紹介できなかったりする時があった。そのため今後は、運営メンバーに留学経験者が少ない中で、どのように質問対応の質を維持・向上していくか、改善策を講じる必要があると考える。

## 合同説明会



文責：平松 莉奈

日時：2024年4月9日（火）13:00-16:00、4月24日（水）  
12:10-12:50

名古屋大学で活動する複数の国際交流団体で協力し、新メンバーを勧誘するために合同説明会を開催した。各団体がブースを設置して説明を行い、留学のとびらはイベントとして留学ランチを開催した。多くの学生に対面で留学のとびらの魅力を伝えることができたため、多くの人に関心を持ってもらえた。だが、興味を持ってくれた人を実際に活動へと巻き込み、継続的に活動に参加してもらうことが課題であると感じた。

## 交換留学行ってらっしゃい&お帰りなさい会

文責：森 瑞稀、平松 莉奈

日時：2024年4月10日（水）18:30～

参加者数：10人

留学オリエンテーション後、2024年度交換留学に派遣予定の学生・2023年度の交換留学から帰国した学生・留学のとびらメンバーで食事会を開催した。同じ時期に交換留学に派遣予定の仲間と交流し、同じ時期に一緒に頑張ろうという仲間意識を持ったり、留学前後の話を踏まえて留学準備や留学後のスケジュールなどの情報交換したりできる機会となった。一方、2023年度の交換留学から帰国した学生の参加人数が少なかったことから、先輩後輩間での交流があまりできなかった。留学のとびらメンバーを増やすという目的を鑑み、今後はより帰国する学生の参加を増やしたいと考える。

## 短期留学座談会



文責：平松 莉奈

日時：2024年5月10日（金）10月30日（水）  
12:10-12:50

参加者数：5月10日 19人、10月30日 8人

夏季・春季の短期留学に参加する学生を対象に短期研修座談会を行った。5月はオレゴン大学、ノースカロライナ州立大学、チュラロンコン大学への短期留学経験者に体験談を話していただき、その後質疑応答を行った。10月はオレゴン大学、西オーストラリア大学、ノースカロ

ライナ州立大学への短期留学経験者を招いて同様の形式で開催した。

昨年と同様、参加者の人数や短期留学経験者に熱心に質問をする参加者の姿から、学生の短期留学への関心の強さが伺えた。今後は短期留学経験者が交換留学や留学のとびらの活動に興味をもち、参加してもらえるようにより継続的な取り組みを行っていくことが必要であると考えられる。



## English Café



文責：平松 莉奈

日時：2024年6月19日（水）、6月26日（水）、  
7月10日（水）、11月20日（水）、  
12月11日（水）全て 12:10-12:50

参加者数：計 41 人

昨年度に引き続き「English Café」を開催した。このイベントは留学に行きたいが英語力に不安を持つ学生のための英語学習を目的としている。今年度は英語で短編の映画や動画を視聴し、その内容について英語で議論する形式・word wolfなどのゲームを用いて英会話を行う形式などを開催した。その中でも Debate では、英語を通して少し高度なことを議論することで実際の留学先でも使える英語力・自分の意思を主張する力を楽しみながら鍛えることができた。来年度以降も様々な形式を用いながら、留学希望者の英語力が向上できるイベントを開催していきたい。

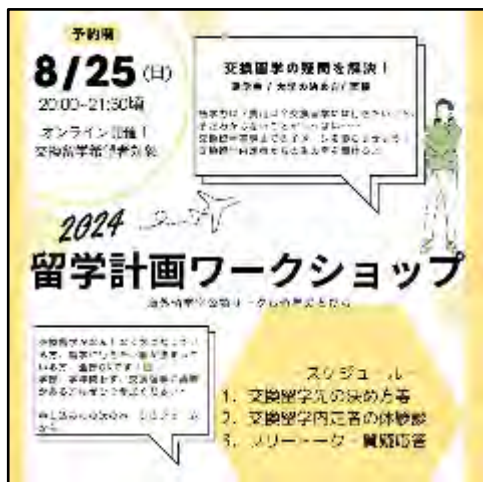


## 留学計画ワークショップ

文責：縄島 航

日時：2024年8月25日（日）20:00-21:00

参加者数：15人



海外留学室が主催する留学準備 IELTS 講座の一環として留とびが例年留学計画ワークショップを企画運営している。今年度は例年と異なり、別々の企画として独自にオンラインにて実施した。

参加者には大学生活を見据えた留学計画の立て方、留学先の選び方、シラバスの見方など、留学決定までの道のりの計画を伝授した。留学内定者が講師として登壇した。このことにより、留学生生活をより身近に感じてもらい、内定したての留学内定者からは、大学の選び方や志望理由の作り方に関してより具体的な経験談を聞くことができた。また、オンラインの開催にしたことにより登壇者と視聴者の距離が近くなり、質問

が多数行き交う場面もみられた。留学計画ワークショップは、交換留学希望者を前提として行っているが、傾向として海外大学院に進学を希望する学生の参加が増えているため、事前に参加者の留学形態に関する希望を聞いた上で、ワークショップを開催できるとより良いと思う。そして参加人数も少ないことから、今後は開催の時期や方法・広報の仕方に関してより工夫して行っていきたい。

## 交換留学座談会

文責：石川 幹

日時：2024年10月23日（水）12:10-12:50

参加者数：21人



交換留学の秋派遣募集に興味がある人向けに、現在留学中の留学経験者 3 人を招待し話してもらった。開催時の気候や学校生活、日常生活など、実際の生活を現地から伝えてもらうことでよりリアルな体験談を聞くことができたように感じる。登壇者から生活で苦労している点や留学先でしかできない経験などを聞くことができ、有意義な座談会になった。3 人共ヨーロッパへの留学経験者であったが、締め切り前ということで国や地域にとらわれず、志望理由や奨学金など手続き面での質問も多かった。



## 来年度へ向けて

文責：縄島 航

来年度は今年度も開催していた交換留学座談会や English Cafe の開催・内容のアップデートに加え、留学経験者の声を SNS で発信していく企画など、現在計画中的の新企画を進めていく予定である。また、留学のとびらを運営するメンバーが少人数の状態であるため、新入生や留学経験者に対する説明会など、メンバー募集活動を強化することで、メンバーを増加させ、活動の幅を広げていきたいと考えている。最終的には、留学したいが悩んでいる学生の気軽に頼れるサードプレイスとなれるようにサークルを順次拡大していき、名古屋大学から留学に行く学生の数の増加の力になりたい。